



西東京市立保谷中学校

令和7年4月1日に、西東京市立保谷中学校 校長として着任いたしました市来原 真茂です。本校は、昭和22年4月19日、時の保護者や地域の方々の熱い期待を受けて開校された学校です。

校章「丸に笹の葉」に込められた先人の苦勞と努力のあとを思い、風雪に絶え何のものにも負けぬ人間となるよう、表現されています。その理念は、脈々と受け継がれ不易の理念として継承されています。「真理を求め、平和で民主的な社会の担い手となる人間を育てる」教育目標の下、様々な教育活動を通して保谷中学校の歴史と伝統を築いてきました。



昭和23年～30年



昭和30年～40年

現在では、オアシス運動を推進し、本町小学校、保谷小学校の児童、「社会を明るくする運動」のボランティアの方々と一緒に、校門付近で挨拶を行っています。また、ボッチャ交流会、HOYAステップ、ビブリオバトル、ふれあい校庭解放、リトルティーチャー、地域清掃西東京ふるさと探求学習等の教育活動を通して、生徒がふるさとに愛着を持ち、歴史や文化を学び、ふるさに貢献できる生徒を育成しています。また、授業や様々な行事を通して、失敗を恐れず新しいことに挑戦する態度や、困難な状況を乗り越え、互いに協力し合える態度、ボランティア活動を通して、自分の得意なことを活かし、他者に貢献する大切さを学んでいます。

このように、開校から絶え間なく続く理念は、時代の変化に応じながら、保谷中学校の生徒に脈々と受け継がれています。



昭和44年

